

## 令和3年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	7. 土木費	大事業	2. 幹線道路整備事業
項	2. 道路橋梁費	中事業	
目	3. 道路新設改良費	担当所属	道路建設課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額		5年間計画額		
臨時	補助	計画	0	0	65,258	実施計画	第2章	714,774	
							人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）	令和3年度	161,466
							基本施策3	令和4年度	239,649
							道路環境	令和5年度	313,659
							施策1	令和6年度	0
							快適な道路の整備を推進します	令和7年度	0

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	34,325	
本年度当初査定額	34,267	76,761

財源内訳	国庫支出金	地方債				その他	一般財源
本年度当初要求額	0	0				34,325	△34,325
本年度当初査定額	18,067	16,200				0	42,494

**<事業に関する説明>**

<p>(事業の概要) 工事：直弥Ⅰ-35号線・八木Ⅰ-31号線、城内町Ⅱ-14号線 委託：飯野Ⅱ-31号線・上志津原交差点県改良事業物件調査等、自転車通行帯設計、都計道・幹線道路見直業務（R2～R3債務負担）、交通量調査1ヶ所、勝田台長熊線損害回復訴訟 用地・補償：線電柱移設、飯野Ⅱ-31号線、上志津原交差点</p>	<p>(事業の目的) 現状の道路網を踏まえ、アクセス性の向上や渋滞解消などに対応するため、幹線道路の車道拡幅整備や歩道整備を行い、市民生活の安心、安全、快適性の向上を図るとともに、観光人口の増加を目指し、国道県道や都市計画道路を軸とした道路網の構築に努めます。</p>	<p>(事業の効果) 歩道整備や道路拡幅により道路利用者の安全性や快適性の向上が図られるとともに、幹線道路網の整備により交通渋滞の緩和や交通事故削減が図られます。また、アクセス性が向上することで地域間交流の拡大、市内観光施設への来客数の増加が見込まれ、地域経済の活性化が図られます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 厳しい財政状況下での公共事業予算の確保は、市民ニーズに対応した事業実施において最大の課題であります。また、道路拡幅用地の確保における地権者の協力が得られず、整備計画に影響が出ている路線があります。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 限られた予算に対応するため、事業の選択と集中を行い、効率的な施工方法を経済的に検討します。なお、路線全体ではなく部分改良などにより一定の効果が得られるような創意工夫をし、最小の経費で最大の効果が得られるように努めます。</p>	<p>(見積についての特記事項) 市内の各地区を結ぶ道路は、幅員が狭く、各所で交通渋滞が発生していることから、交通渋滞の解消、安全性の確保、利便性の向上が求められます。このことから幹線道路等の整備は必要であります。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
08	28	20	8
10	98	150	△52
12	31,722	24,104	7,618
14	27,335	62,074	△34,739
16	12,576	24,980	△12,404
18	2,500	6,625	△4,125
21	2,502	10,000	△7,498

	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
特定財源	16	02	05	01	01	00	防災・安全社会資本整備交付金	0	0	3,468	△3,468
	16	02	05	01	02	00	社会資本整備総合交付金	18,067	18,067	36,023	△17,956
	23	01	03	01	03	00	幹線道路整備事業債	16,258	16,200	35,400	△19,200
差引一般財源								△34,325	42,494	△74,891	117,385